🔔 お知らせ（情報公開文書）

函館新都市病院　脳神経外科では、診療の質の向上と医学の発展のために、過去の診療データを用いた研究を行っております。現在、以下の研究を実施しておりますので、内容をご確認ください。本研究にご自身の診療情報が使用されることに同意されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。

【研究課題名】

急性期脳主幹部動脈閉塞における MRI による術前の閉塞部以遠の血管描出の有効性の探索

【研究実施機関】

函館新都市病院、旭川医科大学、北見赤十字病院（共同研究）

【研究責任者】

原口　浩一（函館新都市病院　脳神経外科　院長）

【研究目的】

2012 年～2024 年に当院で実施された急性脳主幹動脈閉塞症例を対象に、術前の MRI 画像（3D-FIESTA または 3D-CUBE）により、閉塞部以遠の血管構造がどの程度描出されているかを、再開通後の MRA または DSA 画像と比較して検証し、術前 MRI の有用性を明らかにすることを目的としています。

【研究対象者と方法】

2012 年 2 月～2024 年 12 月までに、当院で機械的血栓回収療法を受け、術前 MRI が施行された急性脳主幹動脈閉塞の患者様を対象としています。最大 400 例程度を予定しており、以下の情報を収集・解析いたします。

- 年齢、性別、閉塞血管部位、塞栓源、治療法（stent retriever/aspiration/combined）
- TICI Grade、術前・術後の NIHSS および mRS スコア
- 転帰、術後出血の有無、血液検査値
- 画像（MRI, MRA, DSA 等）

収集したデータは匿名化処理を行い、照合表は院外に持ち出すことはありません。

【個人情報の保護について】

本研究では、氏名や患者 ID など、個人を特定できる情報は全て削除（匿名化）した上で、旭川医科大学および北見赤十字病院に提供され、解析が行われます。照合表は当院内で厳重に管理され、外部に提供されることはありません。

研究成果は学会や学術誌において発表される予定ですが、個人が特定される情報は一切含まれません。

【情報公開（オプトアウト）について】

本研究では、対象期間が広範であり、すべての対象者から個別に同意を得ることが困難であるため、「情報公開による同意（オプトアウト）」の手法を採用しております。
本研究へのご自身の診療情報の使用を望まれない方は、下記連絡先までお申し出ください。

【お問い合わせ・お申し出先】

医療法人　雄心会　函館新都市病院
倫理委員会　事務局　出雲　雅樹
〒041-0811　北海道函館市石川町 331-1
電話番号：0138-46-1321（代表）
受付時間：平日　9:00～17:00

ご不明な点がありましたら、どうぞお気軽にお問い合わせください。
当院は、患者様の権利を尊重し、透明性のある医療を推進してまいります。